

農業を取り巻く現状と課題

テーマ

- 若い人の農業をしている割合が少ない
- なかなかすぐに農業を始めようとはいかない



どうしていくべきなのか、自分たちで
できることはあるのか

テーマに関してどのような点が課題？

- **高齢者が多い**

- 後継ぎがいなくて農業する人が減っていく
- 農業が大変になってきてしまう

- **農地が狭い**

- この地域は各世帯で農地をしている人が多い
- 農業を始めたいと思ってもなかなか始めることができない
- 収入が安定しない

農業就業者数と平均年齢の変化

2000年

61.1 歳

2000年

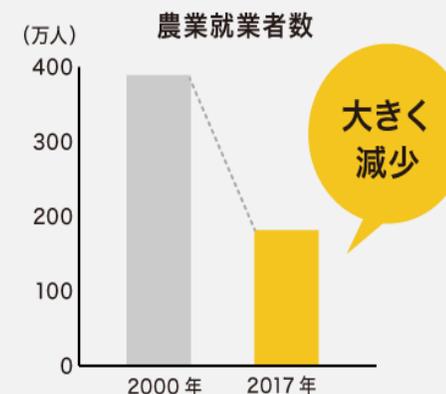
389.1 万人

2017年

66.7 歳

2017年

181.6 万人



就業者数は2000年～2017年までに約208万人減少している。これは、長野県民の人口と同じくらいの人が減っている

介護就業者数の変化と平均年齢

平均年齢

45.1歳



2000年 21.0万人



+135万人

2017年 155.7万人

農業就業者と介護就業者の比較で分かったこと

- 介護就業者数は2000年から増加傾向にあるが、農業就業者数は年々減少していて、2017年には約半数になっている
- 平均年齢が介護就業者よりもはるかに高齢化が進んでいる

なぜ農業就業数が減っている？

- 収入が少ない、安定しない
 - 安い農産物が輸入され、市場に出回り、農産物の価格が下がっている。
 - 天候など外部影響を受けやすい商品であるため、収穫高が安定していない。



労働力と収入が合っていない

労働力と収入を合わせる

今までより労働力が減れば、労働力と収入が比例する



すべて自動にすれば労働力が減る



操作方法がわからない、お金がかかる、作物の価値が下がる

労働力と収入を比例させるには

- 機械に強い人や若者が機械を管理する
- 機械を各世帯で買うとお金がかかるので数台の機械を各地域で貸し借りして使う

農業法人について

	総数	法人化している					法人化していない	個人経営体
		総数	農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人		
平成22年	4,069	55	3	35	14	3	4,014	3,990
平成27年	3,446	72	7	42	20	3	3,374	3,361

十日町の農業法人

- グリーンサービス中条、花水農産
- 非農家出身で、農業経験がない人
- いきなり独立できない人
- 農地の取得が難しい人
- 就職して給料を貰いながら農業と掛け持ちする など

私たちにできること

- 農業をしている人の大変さを理解し、感謝して食事をする
- ボランティア活動に積極的に参加し、農業の楽しさや、やりがいを体験してみる
- 地元の農業関係のことに興味を持ってみる

